

- ★ 生育の回復が著しく中干しの適期実施を！
 ★ 幼穂形成期は「ふさおとめ」が6月14日頃から、
 「ふさこがね」が6月15日頃から

1 君津地域の生育概況

5月下旬は気温が平年と比較して高い傾向が続いたことで、生育の回復が進み、平年よりも草丈はやや長く、茎数はやや多くなっています。そのため、一部ほ場では既に目標茎数が確保されています。ほ場を確認し、速やかに中干しを開始しましょう（目標茎数は第1報参照）。

また、4月20日植え「ふさおとめ」は6月14日頃から、「ふさこがね」は6月15日頃から幼穂形成期（出穂25日前、幼穂長1mm）に入る見込みです。

2 生育調査ほの調査結果（6月1日）

品種	年	田植え日	葉令	草丈(cm)	茎数(/株)	茎数 (/m ²)	単葉葉色
ふさおとめ (袖ヶ浦市)	29	4/17	9.8	42	33.2	495	41.6
	平年	4/16	9.2	36.0	28.6	430	45.6
	平年比	+1	+0.6	117%	116%	115%	91%
ふさこがね (君津市) ※2	29	4/20	8.2	39	24.9	356	45.8
	平年	4/19	8.3	31.6	23.1	443	44.5
	平年比	+1	-0.1	123%	108%	80%	103%
コシヒカリ (君津市) ※2	29	4/16	8.4	45	26.9	395	43.3
	平年	4/20	8.2	37.5	26.0	497	42.0
	平年比	-4	+0.2	120%	104%	80%	103%
コシヒカリ (木更津市)	29	4/29	7.7	40	25.4	476	38.4
	昨年	5/1	8.0	37	19.6	326.8	45.7

※1 平年値は過去10か年（2007～2016年）平均値。ただし、木更津市のほ場は26年から調査を始めたため、平年値はなし。

※2 29年の君津市ふさこがね及びコシヒカリは一発肥料を施用している。

-郵便で配信している方へお願い-

稲作情報の配信を郵便から、電子メールまたはFAXに切り替えを進めています。

電子メール・FAXをお使いの方は、下記までご連絡ください。

連絡先 青木 y.aoki31@pref.chiba.lg.jp 0438-23-0299（電話）

3 これからの管理のポイント

① 「ふさおとめ」「ふさこがね」の幼穂形成期（出穂 25 日前・幼穂長 1mm）の予測

品種	植付時期	幼穂形成期予測	穂肥適期の目安	冷害危険期予測
ふさおとめ	4月20日	6月14日～	6月14～21日	6月24日～
ふさこがね	4月20日	6月15日～	6月22日	6月25日～

② 「ふさおとめ」「ふさこがね」の穂肥

穂肥の施用適期は、幼穂長で判断されます。生育が適正範囲内であれば、

- ・「ふさおとめ」は幼穂長 1mm～10mm（幼穂形成期～出穂 18 日前）
- ・「ふさこがね」は幼穂長 10mm（出穂 18 日前）

の時にチッソ成分で 3kg/10a を標準に施用します。

生育が過繁茂となっている場合は、施用時期は遅らせずに、量を減らして施用します。穂肥が遅れると玄米に含まれるタンパク質が増えて食味が悪くなる傾向があります。なお、「ふさこがね」の穂肥施用時の適正な葉色は他の品種に比べて濃いのが特徴で、カラスケール等で葉色を確認して、適正な葉色であれば穂肥を基準どおりに施用します。

幼穂形成期の目標とする水稻の姿

品種	草丈 (cm)	茎数※ (本/株)	茎数 (本/m ²)	群落葉色 ※※
ふさおとめ	55 以下	31～34	570～620	4.0
ふさこがね	60～65 以下	25～27	450～500	5.0
コシヒカリ	70 以下	23～30	430～560	3.5～4.0

※坪 60 株植時の 1 株当たり茎数の目安、※※カラスケール値による。

③ 水稻の倒伏対策について

昨年は、千葉県全体で水稻の倒伏が多く見られ、収穫不可能なほ場も一部発生しました。倒伏は、品質・食味低下の大きな原因となり、収穫作業の非効率化、機械の故障等につながります。

水稻が倒伏する原因としては、まず、台風による著しい倒伏を始めとした気象の影響があります。一方で、中干しの未実施、幼穂形成期の生育過多、下位節間の伸長、収穫後のほ場耐力不足による収穫作業の遅れなど、適切な管理をすれば倒伏を防げた事例もいくつかあります。

昨年、倒伏が見られたほ場については、対策として、中干しの確実な実施、溝切りの実施、確実な診断のものと穂肥施用を実施しましょう。特に、今後施用予定の穂肥については、確実な診断のもと実施してください。昨年倒伏が多く見られたコシヒカリについては、極度の生育過剰が起きているほ場は倒伏軽減剤（ロミカ、ピピフル、スマレクト等）の使用も検討しましょう。



乗用式の水田溝切り機



溝切り後の水田

※ 次号は「6月21日頃」発行予定